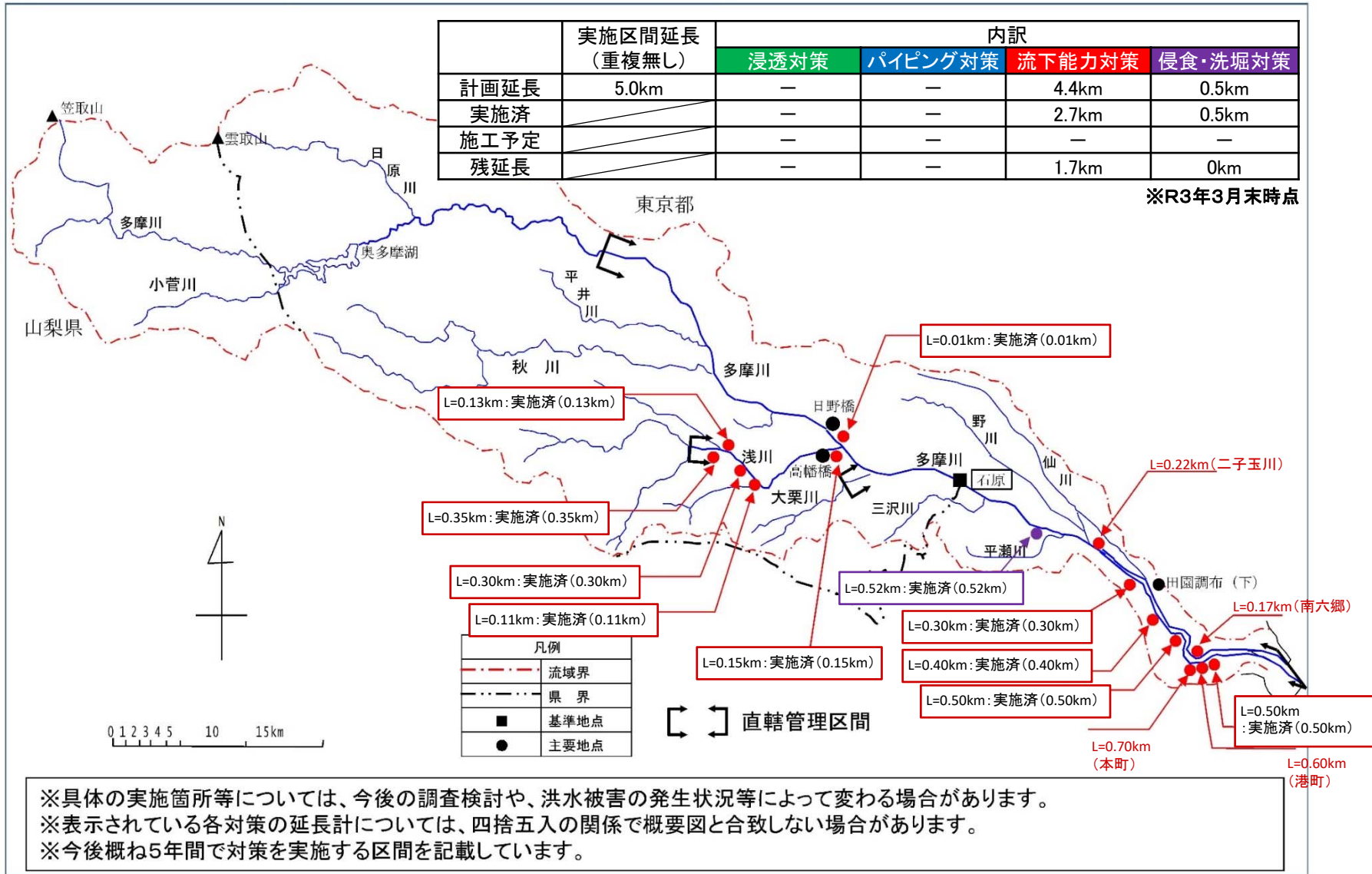


## ハード対策の進捗状況

## 【洪水を河川内で安全に流す対策】

# 洪水を安全に流すためのハード対策 概要図 <多摩川>

凡例	浸透対策	パイピング対策	流下能力対策	侵食・洗掘対策
----	------	---------	--------	---------

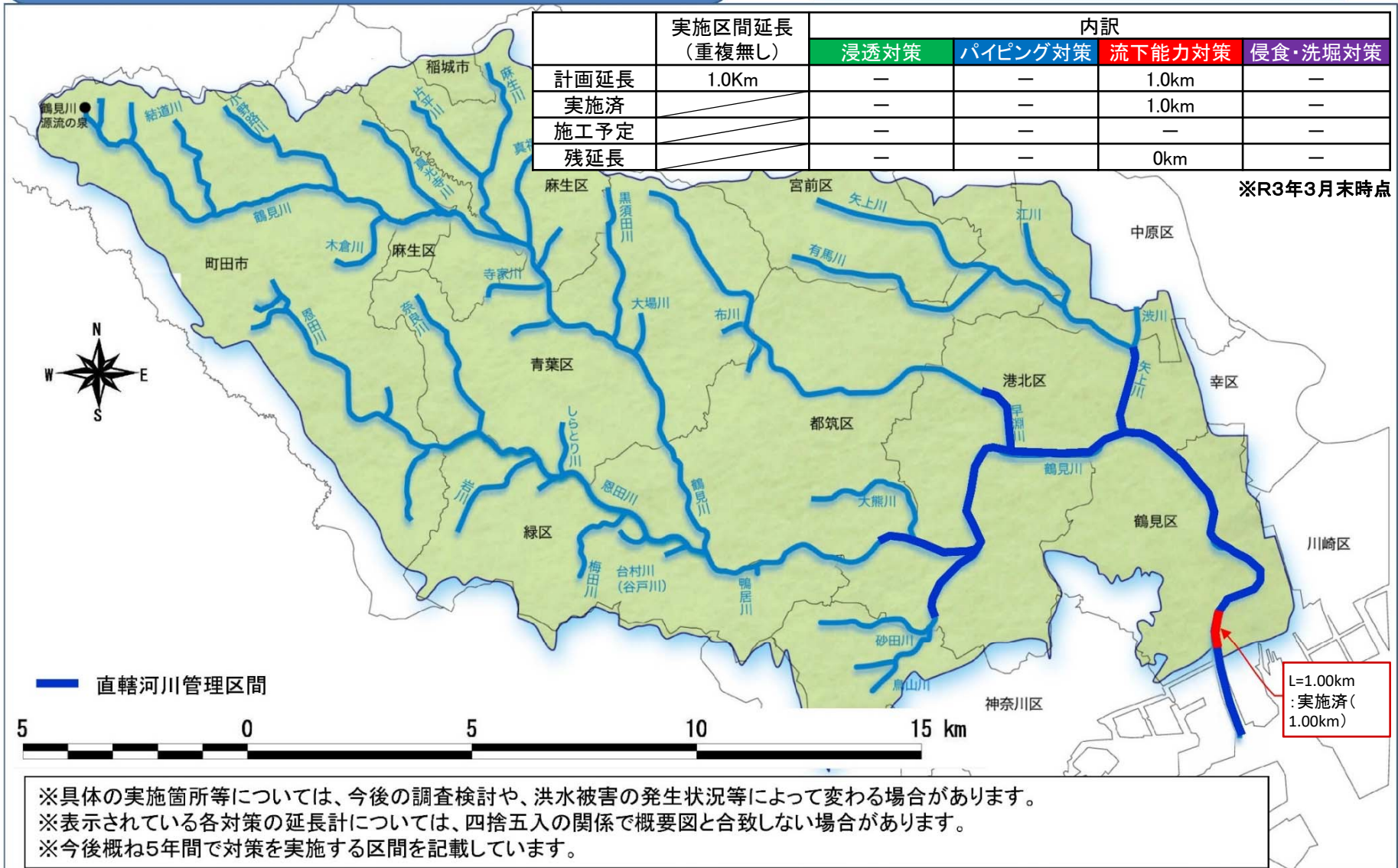


# 洪水を安全に流すためのハード対策 概要図

## <鶴見川>

凡例

- 浸透対策 (緑色)
- パイピング対策 (青色)
- 流下能力対策 (赤色)
- 侵食・洗掘対策 (紫色)



## 【ハード対策の主な取組】

# 洪水を河川内で安全に流す対策



➤洪水を河川内で安全に流す対策として、堤防高が低いなど当面の目標に対して流下能力が不足している箇所の堤防整備等を行っています。

### ◆現在までの実施状況



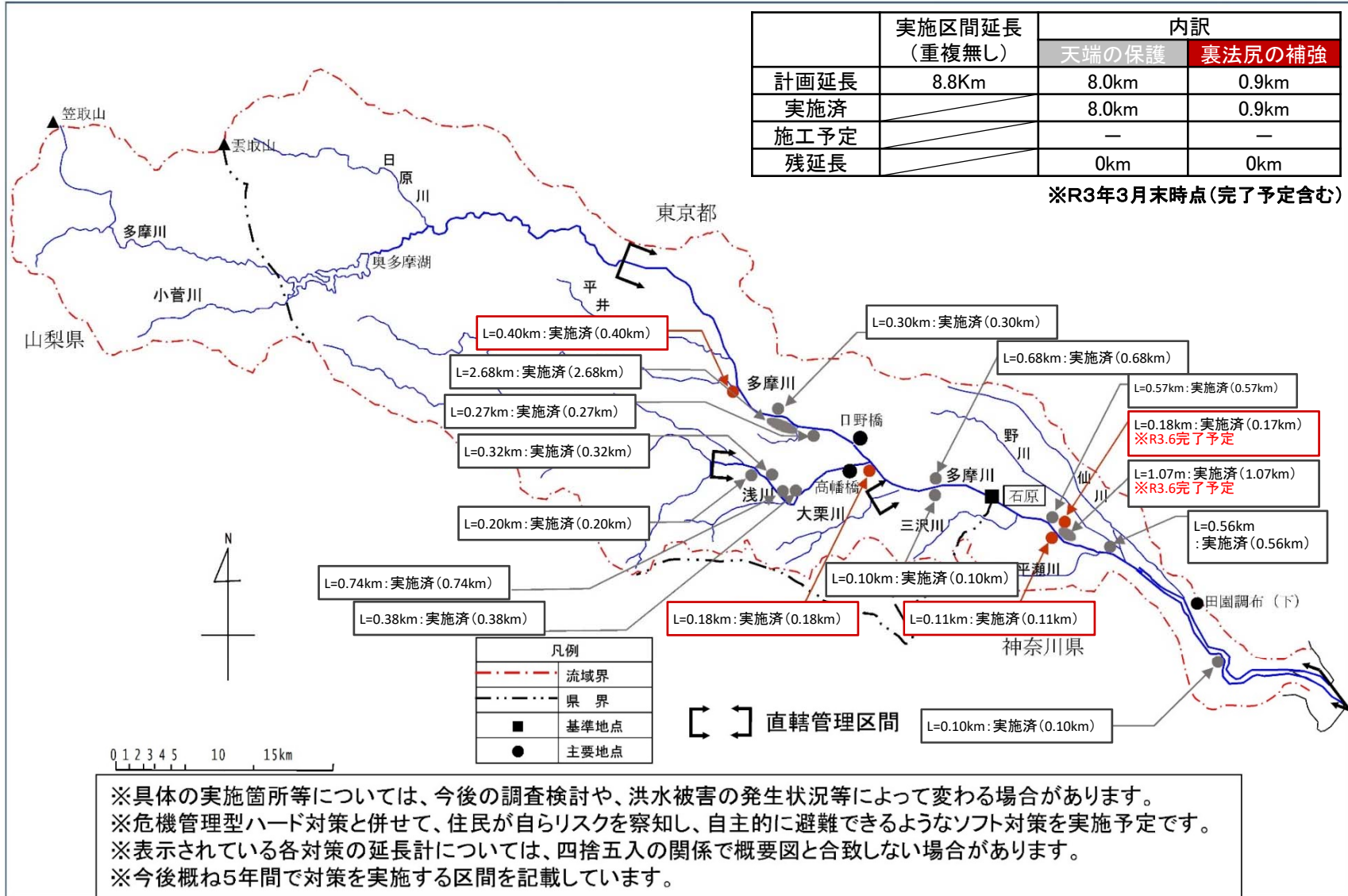
## 【危機管理型ハード対策】

# 危機管理型ハード対策 概要図 ＜多摩川＞

凡例  天端の保護  
 裏法尻の補強

	実施区間延長 (重複無し)	内訳	
		天端の保護	裏法尻の補強
計画延長	8.8Km	8.0km	0.9km
実施済		8.0km	0.9km
施工予定		—	—
残延長		0km	0km

※R3年3月末時点(完了予定含む)

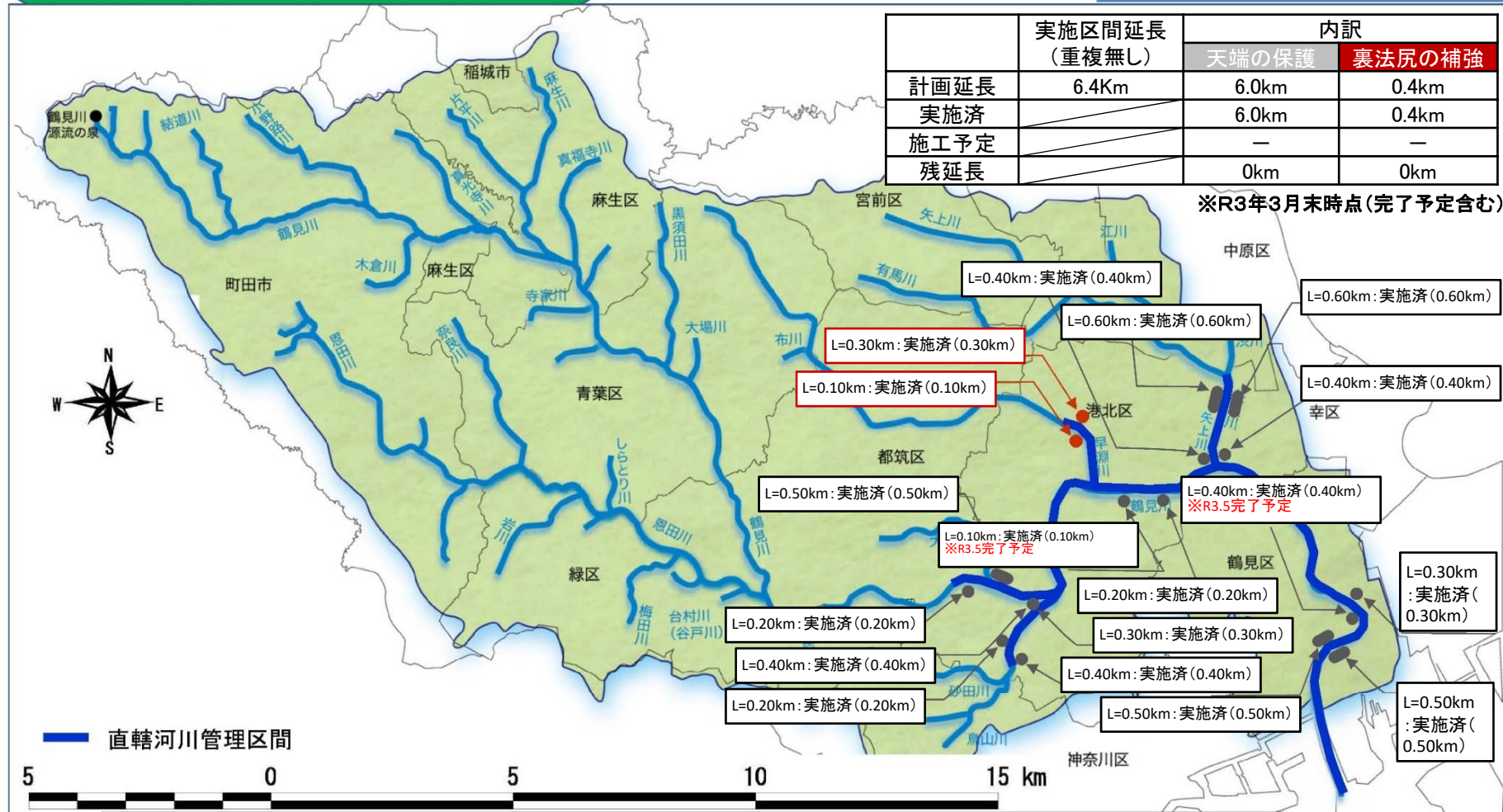


# 危機管理型ハード対策 概要図 ＜鶴見川＞

凡例  天端の保護  
 裏法尻の補強

	実施区間延長 (重複無し)	内訳	
		天端の保護	裏法尻の補強
計画延長	6.4Km	6.0km	0.4km
実施済		6.0km	0.4km
施工予定		—	—
残延長		0km	0km

※R3年3月末時点(完了予定含む)



■ 直轄河川管理区間



※具体的実施箇所等については、今後の調査検討や、洪水被害の発生状況等によって変わる場合があります。  
 ※危機管理型ハード対策と併せて、住民が自らリスクを察知し、自主的に避難できるようなソフト対策を実施予定です。  
 ※表示されている各対策の延長計については、四捨五入の関係で概要図と合致しない場合があります。  
 ※今後概ね5年間で対策を実施する区間を記載しています。



## 【ハード対策の主な取組】

# 危機管理型ハード対策

➤ 決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう堤防構造を工夫する対策(危機管理型ハード対策)として、堤防における『堤防天端の保護』を実施しています。

### ◆ 現在までの実施状況

